

環境問題

問 防犯灯をLEDに切り替える考えは

答 補助対象として検討したい



田中 榮一 議員

【生活環境整備について】

問 防犯灯の補助金を増額し積極的にLED（発光ダイオード）に切り替えを促しては。

村長 LED照明は「長寿命・高信頼性・低消費電力・低発熱性」を備え、日本全体が節電に取り組む今、大変時宜に即したものと認識しています。従来の補助制度では、対象外であった電球のLED化については、補助対象として検討したいと思えます。難点は高価格であり慎重にならざるを得ない状況にあり、補助率・上限額は当面据え置きで対応します。



LED化が望まれる街灯

問 国道148号沿いは暗く、夜歩く人も多いため、防犯灯を設置したらどうか。

村長 現在、国道148号には県が設置している街路灯が93基ありますが、さらに防犯目的で増設する場合は、必要箇所を調査し県に設置要望をしていきます。

【地域防災計画について】

問 避難誘導を図る基本的な体制づくりは、いつ、どのような形で取り組むのか。

村長 本年度から5カ年計画で村内避難所への案内看板の設置と、孤立性が高い山間集落に衛星携帯電話の配備を計画しています。また、指定避難所や危険箇所などを記したマップに、災害に対する備えを加えた「防災ガイドブック」の作成に着手します。切迫した状況では、生命を守る最低限の避難行動を選択する判断力と行動力が必要です。住民一人ひとりの災害対応力を高める必要があり、また、防災意識や知識を高める機会を提供していきます。

【地域高規格道路について】

問 県は、このほど長野道を豊科インター北の安曇野市、光地籍付近で分岐するA、B、2つの概略ルート案を提示したが、村内ルートについての考えは。

村長 村内ルートについては、白馬商工会が各種団体で組織した「松本糸魚川連絡道路建設促進白馬村実行委員会」において意見集約した案を、平成22年に村に要望書として提出を受けています。その中で、長野県を示す村内の「バイパス案を含め更なる調査・検討を行う区間」については、姫川沿いの東側ルート案が提示されていますが、今後の参考にと考えています。この要望書は、大町建設事務所にも提出しています。今後は、村内検討委員会を設置し、大北5市町村で足並みを揃え、県とも連携しながらルートの決定に向けて進みたいと思えます。